

# 多文化フィールドスタディー(3・4年次)

## — 中国での調査を終えて —

**【共通調査】** 北京における日系コンビニの未来像  
～いかに日系コンビニの売り上げを増やすか～

＜研修期間＞

2017年8月7日～8月25日

＜研修場所＞

中国、北京

＜調査方法＞

北京師範大学内および、その周辺でのアンケート調査  
(北京師範大学生並びに大学周辺に住む北京市民225名)



＜新たな気付き～学生からの体験談より＞

アンケート作成にあたって、本アンケートを実施する前に現地でプレアンケートを行った。その経験を通して、調査目的とアンケート内容の整合性を確認すること、また回答する中国人にとって配慮された設問形式であるかを考える重要性を強く認識した。調査結果から日系コンビニに対する認知と関心が高いことがわかり、現地における日系コンビニのポテンシャルの高さを感じた。

### 【個別調査】

学生の報告書から(多文化コミュニケーション学科3年生)

「中国人の同性愛者に対する意識調査」

伊藤ほのか (Ito Honoka)



＜新たな気付き＞

大学内でインタビューした学生は、親切な人が多く、真剣にアンケートに答えてくれました。学生などの若者は同性愛者に寛容で、同性愛者が公表しやすい社会になればいいと考えている人が多かったのに比べ、年齢層が高くなればなるほど、同性愛者に対して厳しい意見を持っている人が多いことを、この調査から学びました。

## 「なぜ中国人は熱い飲み物を飲むのか」

栄留禾織 (Eidome Kaori)



### <新たな気付き>

アンケート調査の結果、季節を問わず常に熱い飲み物を飲むことは健康のためであり、先祖代々受け継がれている習慣であることが分かった。そして、特に女性と年配の方は自分の体をいたわるため、必ず熱い飲み物を飲むようにしていた。その一方で、若い男性は夏には冷たい飲み物も飲むとの回答が多いなど、若者と年配者との間で違いが見られた。

## 「古着に対するイメージ調査」

佐藤桃 (Sato Momo)



### <新たな気付き>

最初は中国語で話しかけることに不安と緊張がありました。アンケートの回数を重ねるにつれて、徐々に現地の人々とコミュニケーションをとれるようになり、中国語能力の向上にもつながりました。アンケートを断られることも多々ありましたが、その度にメンタルが鍛えられ、それも良い経験となりました！

## 「レンタル自転車の使用状況について」

細谷愛海 (Hosoya Ami)



### <新たな気付き>

中国に行く前は、中国人に対してのイメージがあまり良くなかった為、アンケートも断られるのではないかと心配がありました。大学内で調査したこともあり、実際には、ほとんどの人がアンケートに答えてくれました。この事で、中国人の人柄の良さに触れることができ、中国に対するイメージが以前よりも良くなりました。

## 「中国の偽ブランドについての意識調査」

坂井彩菜 (Sakai Ayana)

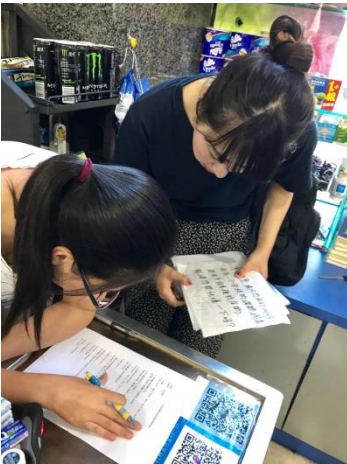


### <新たな気付き>

大学内でアンケートをとったため、ほとんどの人が答えてくれ、想像以上に優しく対応してくれた。アンケートはスムーズに行えたが、時々話しかけてくれる学生もいて、もう少し中国語が理解できたらより良いコミュニケーションができたのではと思った。偽ブランドについては気にせずを使う人、買わない人など様々な考えの人がいた。

## 「中国人の色彩感覚」

山田彩果 (Yamada Ayaka)



### <新たな気付き>

異文化の中での調査で不安もありましたが、現地の方々が協力的でスムーズに調査することができました。自分が立てた仮説と違う結果が出たことに、フィールド調査の醍醐味を感じました。

## 「中国における“ゆるキャラ”」

神尾緑 (Kamio Midori)



### <新たな気付き>

まだ中国では、日本のように地方自治体や企業が企画する「ゆるキャラ」は数が少ないことが調査を通じて分かった。学生達は不審がらず、私のアンケートに応じてくれて嬉しかった。アンケートを通じて現地の学生と会話の機会もでき、有意義な体験になった。

「中国人の映画館に対する意識調査」

杉本安里紗 (Sugimoto Arisa)



＜新たな気付き＞

言葉に不安はありましたが、元気な挨拶と伝えたいという気持ちを持って積極的に話しかけるよう意識していました。それもあってか嫌な顔されることなくスムーズに調査を進めることができましたと思います。

「中国人のネット通販の利用について」

赤津芽実 (Akatsu Megumi)



＜新たな気付き＞

私は大学内で調査を行いました。最初は不安が大きく緊張していたのですが、学生は私たちが日本人学生であると分かると快く調査に協力してくれ、中には逆に沢山質問をしてくれる方もいました。とても優しい人ばかりでした。

「中国の若者に対する広告効果について」

大塚美香子 (Otsuka Mikako)



＜新たな気付き＞

広告に対する中国の若者の意識について考えを深めることができました。調査を通して、中国の若者の心理やトレンドをいかに正確に捉えるかが広告効果に影響していると気づきました。

## 「中国の大学生の情報収集方法とインターネット規制」

中西智子 (Nakanishi Tomiko)



### <新たな気付き>

アンケートの協力を断られることもあったが、予想していたよりも多くの学生が協力してくれて安心した。中国のインターネット規制について不満を抱いている学生は多いと仮定していたが、VPNを普段から使用している割合も比較的少なく、そこまで不便や不満を感じている学生は少ないことが意外な発見だった。

## 「タトゥーについての価値観」

辻村太一 (Tsujiura Taichi)



### <新たな気付き>

中国人の多くは日本と違いタトゥーに対して偏見を持つ人が少ないと考えていた。実際に調査すると、『子供には絶対にさせない』や『仕事に影響を及ぼす』などの意見が聞けた。

## 「中国人の対日イメージ」

李修文 (Li Xiuwen)



### <新たな気付き>

調査では、殆どの中国人は日中戦争について知っている一方、グローバル化の進展並びに日中両国間の経済、文化交流の結果、かつてあった戦争と現状を結びつける発想が弱まり、今日では歴史認識とは別に、素直に日本製品を評価し、日本人を受け入れたりする程度が高くなっていることが判明した。さらに、グローバル化の影響で、多くの中国人は将来的に日中両国は前向きに発展していくと予想していることが明らかとなった。

「～飲み物～中国における水筒の普及について」

國分美々 (Kokubun Mimi)



＜新たな気付き＞

私は北京到着後、店舗に水筒が多く売られ、多くの人が水筒を持ち歩いていると気づき、水筒について調査をした。自分の現在のレベルの中国語を使ってアンケートを取るのには苦勞したが、行動力をつけることが出来、とてもいい経験になった。

「電子マネーに対する中国人の意識」

邵雪琦 (Shao Xue Qi)



＜新たな気付き＞

今回の調査では、今まで知らない中国の一面に気づきました。それと同時に日本人学生の現地調査に対して中国人としてアドバイスが出来たことは大きな成果でした。また休日に北京で日本の友達と一緒にいっぱい遊び、自分が知っている中国を紹介したことは楽しくかつ貴重な経験となりました。